



はつらつ 通信



Vol. 129
2015.3.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院
●編集 はつらつ通信局

もしもの時の地下水

災害時に重要なライフライン「水」

今年は阪神・淡路大震災から20年の節目の年。4年前の東日本大震災を経て、今一度、震災のさまざまな経験から学ぼうと、震災を振り返り未来に備えるためのさまざまな取り組みが全国各地で行われています。

札幌ライラック病院でも、4年前に自家発電を増強。人工呼吸器の各病床へ非常用電源を引き、状況確認や情報収集に欠かせない電話交換機も非常用電源で稼働できるようにしたほか、ドクターの院内用携帯電話は災害時に回線が優先される機種に変更し、混乱の中でもドクターが指示しやすい体制を整えました。

電源の次に本院が着目したのは「水」でした。災害時のライフライン確保に地下水の利用を検討し、高度な膜ろ過処理で飲料用に浄化した地下水と公共水道を併用し水源を2つ持つ二元給水体制の導入を決定。昨秋に工事を始め、年明け2月に稼働となりました。

汲み上げている地下水を地域に供給

災害でライフラインの正常な機能が失われたとき、水を必要とするのは医療機関に限られません。近隣の方々に地下水を供給することで、二元給水体制の安心感を地域と共有し、医療の提供にとどまらない災害時の地域貢献ができると本院は考えました。

2月24日(火)、災害時における地下水の供給に関する協定を近隣2つの町内会と締結しました。そのときのように、地下水の膜ろ過処理システムのしくみとともにご紹介します。



掘削作業



災害後の水道復旧まで命をつなぐ地下水を、患者さまに、地域にいつでも「水」がある安心感

調印式終了後は、昼食をとともにし、地域の皆さんは帰りがけに地下にある装置を見学されました(システム図参照)。処理後の飲用水は水道法水質基準を満たすよう、24時間365日体制で51項目の水質監視が行われています。過去の震災事例から、水道の復旧

地下の巨大受水槽など膜ろ過システムを見学



0.005ミクロンのUF膜と0.001ミクロンのRO膜でろ過。微細な不純物をRO膜で除去し、UF膜での処理水とブレンドすることで味を安定化



地下水供給に関する協定に調印

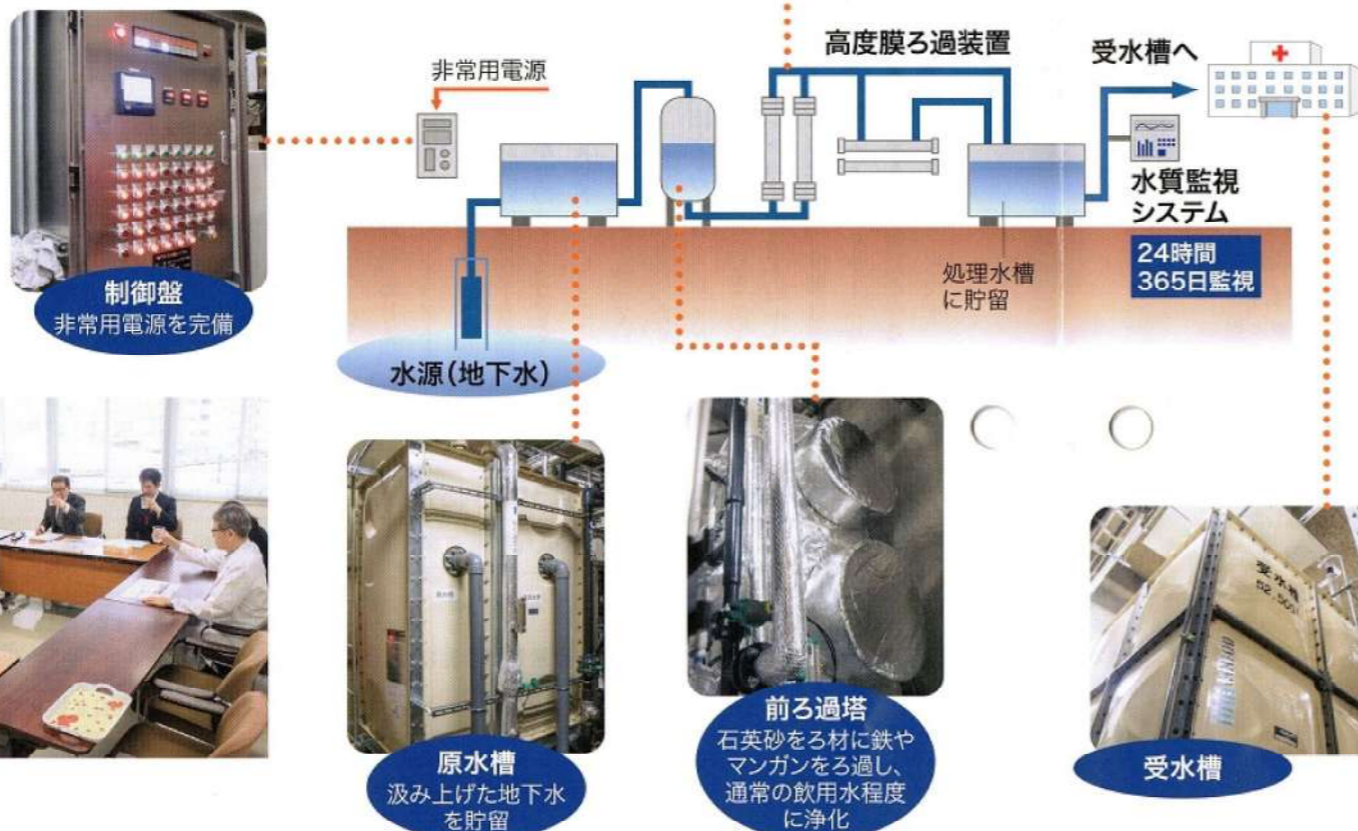


地域の皆さんを招き協定書の調印式

当院と豊平区第17分区、第18分区町内会による災害時ににおける地下水の供給に関する協定書の調印式が、2月24日(火)午前11時に、当院3階会議室で行われました。地域からは、協定の当事者である第18分区町内会の千葉玉枝会長、豊平区第17分区町内会の中川昭二会長に加え、第18分区町内会で長年会長を務め当院と縁の深い渡部宗男さんと、札幌市豊平区豊平まちづくりセンターの佐藤美賀所長が立会人として出席。当院からは本庄恭補院長、三上初美看護部長、森永万佐夫事務長、宮腰隆平係長の4名、システムを施工した三菱レイヨングループの株式会社ウエルシィ北海道支社からは佐藤悦夫支社長と越地秀夫営業担当部長が出席しました。全員が見守るなか、町内会会長と当院長が協定書に押印し、協定を締結。その後は、地下水を膜ろ過処理した飲用水で乾杯しました。

もしもの時に備え将来的には実施研修も

この協定により、当院が災害時に地域住民へ地下水を無償で提供するための必要事項が定められました。例えば、地域住民へ供給するのは余剰水であること。このシステムがつかれる飲用水は最大1日80t、当院で利用する水は約60tで、約20tの余力があります。ひと1人が生きるために必要な1日の飲み水の量は、最低2Lと言われているので、20tあればおよそ1万人分の飲用水を提供することができそうです。また、飲用水の提供方法や提供時間は当院が状況に応じて決め、地域住民は自身で用意した容器で、災害用蛇口から個人単位で供給を受けられるものとし、タンクなどの車両による大規模な取水はできません。中川会長から「どこでどのように水をもらえるのか実地研修をやってもらえる」との要望をいただき、検討することとなりました。



浄化後の地下水で一同乾杯



医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、より良い医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 専門の医療を提供し、安心して療養実践できる環境を整備します。
- 職員は、責任と誇りを持ち、日々創意工夫し、専門職としての使命を果たします。
- 在宅ケアと医療が連携し、チームとして地域住民の健康・保健・福祉に貢献します。

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

- 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
- 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
- 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
- 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
- 院内では常識的な社会人として行動して下さるようお願いいたします。
- 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

デイケアにオリジナルのキャラクターが登場 ラッコの「ライラッコ」です

自主的なリハを促す ポイント制度で登場

デイケアルームの扉に貼ってある、このキャラクターをご存じですか？
名前は「ライラッコ」。オホーツク海で生まれたオスのラッコで、お湯の温度を素早く測る特技を持ち、当院デイケアの大浴槽にときどき浮いているそうです。

ライラッコの初登場は、昨年12月にデイケアでスタートしたポイント制度のポイントカード。制度を提案した成田裕紀ケアワーカーが、カードに何かイラストがほしいと考え、イラストの得意な職員に小さく描いてもらったのがはじまりでした。

このポイント制度は、新しいリハビリプログラムの利用を促すしくみとして導入されました。これまで何もしないまま入浴前後の待ち時間を有効に使うため、計算問題や漢字テスト、握力グリップなどの小さなリハビリのプログラムを企画。併せて、リハビリの参加や完

了、誕生日、理美容サービスの利用などの内容に応じてポイントを付与し、50ポイントで好きな飲み物をデイケアで頼めるドリンク優待券1枚を差し上げるポイント制度をスタートさせました。

プログラムの面白さとポイントを貯める楽しさで、リハビリの参加は上々。ドリンク優待券は友だちに飲み物をおごるためによく使われており、デイケア内の新しいコミュニケーションツールになっています。



「デイケアの通信の名前もライラッコ」と成田ケアワーカー



ポイントカードとドリンク優待券



実際に体験・練習し もしもの備えを万全に

ポイントカードのイラストがキャラクターに進化したのは、ぬりえのプログラムの題材にこのイラストを使い、カラーリングを募集してから。昨年12月に18家の応募作から投票で決まったのが今のライラッコです。

なぜラッコだったのでしょうか？
それは「いつもお風呂で使っている湯温計がラッコのかたちだったんです」と成田ケアワーカー。デイケアご利用の誰もが知っているこのラッコが、デイケアの Mascot 的キャラクターとなりました。今後はライラッコを使ったクイズやゲームなども予定。皆さんとお目にかかる機会が増えそうなライラッコです。

札幌ライラッコ病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関する支援も受けられます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

診療時間

平日 9:00～12:30 13:30～17:00
土曜 9:00～12:00 午後休診
※但し急患の方は上記に限らず随時受付いたします。

面会時間 平日 14:00～20:00
土日祝 12:00～20:00

ホームページ <http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会

札幌ライラッコ病院

札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号
TEL(011)812-8822

デイケアの ボランティアさん 募集中!

こんな活動をしてみませんか？

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30～12:30 ②14:00～15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで